

[選択科目：病理]

1．研修内容

病理診断業務（組織診，細胞診，術中迅速診断，剖検）
病理診断業務の研修中に、他の検査室の業務を見学することも可能。

2．一般目標

医療における病理部門の役割を理解する。

3．行動目標

病理業務の流れを理解する。

それぞれの病理診断業務（組織診，細胞診，術中迅速診断，剖検）の適応と限界を理解する。

病理診断書の内容を理解し、病理医とディスカッション出来るようになる。

病理診断が単なる検査でなく診断であることを理解し、病理診断困難例や境界病変があることを理解する。

4．研修目標

患者さんから採取された検体を適切に扱えるようになる（病理提出前後）

主な臓器の正常肉眼・組織像を理解する。

代表的な疾患の病理所見を理解する。

病理診断業務を経験し、病理医の指導のもとで病理診断書を作成出来る。

およその標本作製方法を理解する。

5．研修実績・その他

2008年度初期研修医からプログラムに参加。当院では病理部門は診療科ではなく、検査科の中の一検査室です。しかし2008年4月から、「病理診断科」が診療標榜科（医業に関して広告可能な科）として認められました。病理に対する一般の方々の理解が深まることが予想されます。

当院の病理検査室で経験出来る疾患・業務には制約がありますが、研修の希望があれば、出来る限り対応するつもりです。将来皆さんの病理との関係をより良いものにし、診療に役立たせてくれることを願っています。